

# 2010年版政府開発援助(O DA)白書

## 日本の国際協力

### 第I部

## ミレニアム開発目標(MDGs)と日本の取組

<b>第1章</b>	<b>MDGsの達成状況</b> .....	<b>2</b>
<b>第2章</b>	<b>MDGs達成に向けた具体的取組</b> .....	<b>6</b>
■第1節	<b>国際社会の動きと日本の取組</b> .....	<b>7</b>
1.	G8ムスコカ・サミット .....	7
2.	アジア太平洋地域MDGsレビュー特別閣僚会合 .....	7
3.	MDGs国連首脳会合 .....	8
■第2節	<b>MDGs達成に向けた日本の貢献</b> .....	<b>9</b>
1.	国際保健分野の新政策 .....	9
2.	教育分野の新政策 .....	10
<b>第3章</b>	<b>TICADプロセスを通じた取組</b> .....	<b>14</b>
1.	TICADフォローアップ会合 .....	15
2.	G8ムスコカ・サミットおよび第65回国連総会 .....	16

# 第Ⅱ部 新たな政府開発援助(ODA)のあり方 —ODAを改めて考える

<b>第1章</b>	<b>ODAをめぐる環境の変化と新たな援助理念 —なぜ日本は開発途上国に援助を行うのか？</b>	<b>18</b>
■第1節	今回のODAのあり方に関する検討の背景と経緯 —ODAを取り巻く環境の変化	19
■第2節	開かれた国益の増進—新たな開発協力の理念	20
	1. 「開発協力」の中核としてのODA	20
	2. 開発協力の理念	20
	3. 開発協力の3本柱	21
<b>第2章</b>	<b>今後の具体策—何が変わるのか</b>	<b>22</b>
■第1節	より戦略的・効果的な援助の実施	23
	1. 戦略的な援助の実施	23
	2. 効果的な援助の実施	24
	3. 現場主義の強化	26
	4. 評価の改善	27
	5. 多様な関係者との連携	28
	6. 国際社会におけるリーダーシップの発揮	29
■第2節	国民の理解と支持の促進	30
	1. 国民参加と共感の拡大	30
	2. 「見える化」の徹底—透明性の向上	30
	3. ODAの現場を伝える広報の効率化	30
	4. 国民の理解と支持を促進するための具体的な取組	31
■第3節	企画立案機能と実施体制(JICA)	33
	1. 外務省の政策・企画立案機能の強化	33
	2. JICAの改革	33
■第4節	開発資金の確保	35
	1. ODAの拡充に向けた努力	35
	2. 民間資金・OOFとの連携	35
	3. 革新的資金調達	36

# 2009年度の政府開発援助実績

<b>第1章</b>	<b>実績から見た日本の政府開発援助</b>	<b>38</b>
<b>第2章</b>	<b>日本の政府開発援助の具体的取組</b>	<b>44</b>
<b>■第1節</b>	<b>政府開発援助大綱の基本方針に関連した取組</b>	<b>45</b>
1.	政府開発援助大綱	45
2.	政府開発援助中期政策	45
3.	国別援助計画	46
4.	分野別開発政策	46
5.	国際協力重点方針	46
6.	事業展開計画	47
<b>■第2節</b>	<b>課題別の取組</b>	<b>48</b>
1.	貧困削減	48
	(1)教育	48
	(2)保健医療・福祉、人口	51
	(3)水と衛生	54
2.	持続的成長	56
	(1)経済社会基盤	56
	(2)情報通信技術(ICT)	56
	(3)貿易、投資、ODA以外の資金との連携	57
	(4)農業	59
	(5)政策立案・制度整備	60
3.	地球規模課題への取組	61
	(1)環境・気候変動問題	61
	(2)感染症	66
	(3)食料	68
	(4)資源・エネルギー	69
	(5)防災と災害援助	70
	(6)国境を越える犯罪・テロ	72
4.	平和構築	74
	(1)アフガニスタンおよびパキスタン支援	75
	(2)イラク	76
	(3)対パレスチナ支援	77
	(4)不発弾および対人地雷・小型武器等	78
<b>■第3節</b>	<b>地域別の取組</b>	<b>79</b>
1.	東アジア地域	80
2.	南アジア地域	85
3.	中央アジア・コーカサス地域	88

4.	アフリカ(サブ・サハラ)地域	90
5.	中東地域	94
6.	中南米地域	98
7.	大洋州地域	102
8.	欧州地域	106
<b>■第4節</b>	<b>援助実施の原則の運用</b>	<b>109</b>
<b>■第5節</b>	<b>援助政策の立案および実施における取組</b>	<b>111</b>
1.	援助政策の立案および実施体制	111
	(1)一貫性のある援助政策の立案	111
	(2)関係府省庁間の連携	111
	(3)政府と実施機関の連携	111
	(4)政策協議の強化	112
	(5)現地機能の強化	112
	(6)内外の援助関係者との連携	113
	ア NGOとの連携	113
	イ 民間企業との連携	114
2.	国民参加の拡大	118
	(1)国民各層の広範な参加	118
	(2)人材育成と開発研究	118
	(3)開発教育	119
	(4)情報の公開と広報	119
	ア 広報・情報公開	119
	イ 国際社会に対する情報発信の強化	120
3.	効果的实施のために必要な事項	120
	(1)評価の充実	121
	(2)適正な手続の確保	121
	(3)不正、腐敗の防止	121
	(4)援助関係者の安全確保	122

<b>第1章</b>	<b>日本の政府開発援助予算</b>	<b>124</b>
■第1節	<b>2010年度政府開発援助予算(当初予算)</b>	<b>124</b>
図表IV-1	政府開発援助予算	124
図表IV-2	政府開発援助予算の推移・他の主要経費の推移	124
図表IV-3	一般会計予算の内訳	125
図表IV-4	政府開発援助一般会計予算[政府全体]	125
図表IV-5	政府開発援助事業予算	126
図表IV-6	政府開発援助事業予算の区分ごとの内訳[政府全体]	126
図表IV-7	政府開発援助事業予算の財源と援助形態別歳出項目	127
■第2節	<b>各省庁の事業予算(当初予算)と事業概要</b>	<b>128</b>
図表IV-8	省庁別政府開発援助予算推移(一般会計予算)	128
図表IV-9	省庁別政府開発援助予算推移(事業予算)	128
図表IV-10	各省庁の事業予算(2010年度事業予算)と事業概要	129
<b>第2章</b>	<b>日本の政府開発援助実績</b>	<b>136</b>
■第1節	<b>開発途上国への資金の流れ</b>	<b>136</b>
図表IV-11	日本から開発途上国への資金の流れ	136
■第2節	<b>二国間政府開発援助の所得グループ別実績</b>	<b>137</b>
図表IV-12	二国間政府開発援助の所得グループ別実績(DAC分類)	137
図表IV-13	二国間政府開発援助と後開発途上国(LDCs)向け 援助額および贈与額の比較	138
■第3節	<b>国別実績</b>	<b>139</b>
図表IV-14	二国間政府開発援助の国別・援助形態別内訳	139
図表IV-15	二国間政府開発援助の形態別30大供与相手国	144
図表IV-16	日本が最大の援助供与国となっている国一覧	146
図表IV-17	日本がこれまでに政府開発援助を供与したことのある国・ 地域一覧(2009年実績まで)	147
■第4節	<b>分野別実績</b>	<b>148</b>
図表IV-18	二国間政府開発援助分野別配分	148
■第5節	<b>緊急援助実績</b>	<b>149</b>
図表IV-19	緊急無償案件(2009年度)	149
図表IV-20	国際緊急援助体制による国際緊急援助隊派遣および 物資供与案件(2009年度)	149
図表IV-21	国際緊急援助体制による国際緊急援助隊派遣および 物資供与実績(2009年度)	150
<b>第3章</b>	<b>二国間援助案件リスト</b>	<b>151</b>
■第1節	<b>二国間贈与</b>	<b>151</b>
図表IV-22	無償資金協力案件一覧	151

■第2節	二国間借款	156
	図表IV-23 有償資金協力案件一覧	156
<b>第4章</b>	<b>国際機関を通じた政府開発援助実績</b>	<b>158</b>
	図表IV-24 国際機関を通じた政府開発援助実績の推移	158
	図表IV-25 主要国際機関に対する拠出・出資実績(上位5か国)	159
<b>第5章</b>	<b>政府開発援助に関する主な資料</b>	<b>161</b>
■第1節	日本の政府開発援助をめぐる動き(2009年12月~2010年10月末)	161
■第2節	政府開発援助に関する政策	163
	1. 政府開発援助大綱(2003年8月閣議決定)	163
	2. 政府開発援助に関する中期政策	169
	3. 現行の分野別開発政策一覧	182
■第3節	重債務貧困国(HIPCs)一覧	183
<b>参 考</b>	<b>諸外国の政府開発援助</b>	<b>184</b>
■第1節	DAC諸国の政府開発援助実績	184
	図表IV-26 DAC諸国の政府開発援助実績(2009年)	184
	図表IV-27 DAC諸国の政府開発援助形態別内訳(2008年)	185
	図表IV-28 地域別実績における主要DAC援助国(2008年)	186
	図表IV-29 DAC諸国の贈与比率	187
	図表IV-30 DAC諸国の贈与額	187
	図表IV-31 DAC諸国のグラント・エレメント	188
	図表IV-32 DAC諸国の二国間政府開発援助のタイピング・ステイタス	188
	図表IV-33 主要DAC加盟国の政府開発援助の比較	189
	図表IV-34 主要DAC加盟国の二国間政府開発援助の 分野別配分(2008年)	189
	図表IV-35 主要DAC加盟国の政府開発援助額に 占める国際機関を通じた援助額の割合	190
■第2節	DAC諸国の開発途上国への資金の流れ	191
	図表IV-36 DAC諸国の開発途上国への資金の流れ(2008年)	191
	図表IV-37 DAC諸国のNGOによる援助実績	192
■第3節	DAC援助受取国・地域リスト	193
	図表IV-38 DAC援助受取国・地域リスト(2009年)	193
■第4節	非DAC諸国・地域の政府開発援助実績	194
	図表IV-39 非DAC諸国・地域の政府開発援助実績	194
	略語一覧	I
	用語集	VI
	索引	X

# 図表

## 第Ⅰ部

図表Ⅰ-1	ミレニアム開発目標(MDGs)の達成状況	4
図表Ⅰ-2	EMBRACEモデル	10
図表Ⅰ-3	日本の基礎教育支援モデル「スクール・フォー・オール」	12

## 第Ⅱ部

図表Ⅱ-1	「開発協力」の概念	20
図表Ⅱ-2	プログラム・アプローチの強化	25

## 第Ⅲ部

図表Ⅲ-1	2009年の日本の政府開発援助実績	39
図表Ⅲ-2	日本の二国間政府開発援助の地域別配分の推移	40
図表Ⅲ-3	主要DAC加盟国の政府開発援助実績の推移	41
図表Ⅲ-4	DAC諸国における政府開発援助実績の国民一人当たりの負担額	42
図表Ⅲ-5	DAC諸国における政府開発援助実績の対国民総所得(GNI)比	42
図表Ⅲ-6	日本の政府開発援助実績の対国民総所得(GNI)比の推移	43
図表Ⅲ-7	開発イニシアティブ(資金援助) 年度別地域別実績	58
図表Ⅲ-8	開発イニシアティブ(技術支援) 年度別地域別実績	58
図表Ⅲ-9	平和構築概念図	74
図表Ⅲ-10	二国間政府開発援助の地域別実績(2009年)	79
図表Ⅲ-11	東アジア地域における日本の援助実績	83
図表Ⅲ-12	南アジア地域における日本の援助実績	86
図表Ⅲ-13	中央アジア・コーカサス地域における日本の援助実績	89
図表Ⅲ-14	アフリカ地域における日本の援助実績	91
図表Ⅲ-15	中東地域における日本の援助実績	96
図表Ⅲ-16	中南米地域における日本の援助実績	99
図表Ⅲ-17	大洋州地域における日本の援助実績	104
図表Ⅲ-18	欧州地域における日本の援助実績	107
図表Ⅲ-19	国別援助計画・現地ODAタスクフォースの立ち上がっている国一覧	112

# Column

<p><b>1</b> P.13</p>	<p>パートナーシップで 効果的な援助を ～国連人口基金(UNFPA)東京事務 所長 池上清子氏インタビュー～</p>		<p><b>2</b> P.50</p>	<p>アフリカの大地で 学校建設に取り組む ～カメルーンの 小学校建設支援～</p>	
<p><b>3</b> P.53</p>	<p>看護水準の向上を 目指して ～エルサルバドルから中米 カリブ地域へ広がる看護協力～</p>		<p><b>4</b> P.55</p>	<p>水道は みんなの財産 ～パキスタンの水道改良事業～</p>	
<p><b>5</b> P.64</p>	<p>みんなで手を 取り合った開発を ～COP10名誉大使 MISIAさんへのインタビュー～</p>		<p><b>6</b> P.65</p>	<p>生き物を守り、 環境の大切さを教える ～マダガスカル 環境教育への協力～</p>	
<p><b>7</b> P.84</p>	<p>モンゴルの 生命線を守る ～火力発電所の改善に取り組む シニア海外ボランティア～</p>		<p><b>8</b> P.87</p>	<p>教育の機会を提供し、 自立を促す ～バングラデシュで家事使用人 として働く少女を支援～</p>	
<p><b>9</b> P.93</p>	<p>適切な医療を 難民に ～ジブチでの難民支援～</p>		<p><b>10</b> P.97</p>	<p>諦めないことが 成功への一歩 ～トルコ・ボスポラス海峡 横断トンネル～</p>	
<p><b>11</b> P.101</p>	<p>信頼関係で 世界遺産を保存 ～グアテマラ・ティカル遺跡 への協力～</p>		<p><b>12</b> P.105</p>	<p>海を越えて 情報にアクセスを ～大洋州へのICT支援～</p>	
<p><b>13</b> P.108</p>	<p>子どもたちから 地域に広がる交流 ～マケドニアの民族間 交流支援～</p>		<p><b>14</b> P.116</p>	<p>連帯し 自立へ進む ～日本のNGOによる ハイチ支援～</p>	
<p><b>15</b> P.117</p>	<p>官民で ODA卒業国に協力 ～サウジアラビアの 自動車技術訓練～</p>				

# Keyword

<p><b>1</b> P.3</p>	<p>ミレニアム開発目標 (MDGs) ～その目的とこれまでの経緯～</p>	<p><b>2</b> P.23</p>	<p>OECD-DAC 対日援助審査</p>
<p><b>3</b> P.34</p>	<p>経済外交の推進への ODAの活用</p>	<p><b>4</b> P.62</p>	<p>生物多様性条約 第10回締約国会議(COP10)</p>